

# 就業会員の声

大阪商業大学豊山ゼミナールは平成28年1月15日、東大阪市シルバー人材センター作業所にて、折り紙の袋詰めや商品管理などの作業をしておられる就業会員にインタビューを行いました。ご協力いただいた3名の会員の皆様、ありがとうございます。

今回のインタビューで行った質問内容は以下の4つです。

- ① シルバー人材センターに入会したきっかけ
- ② どんなときにやりがいを感じるか
- ③ 就業を通して得たこと
- ④ センターへ入会を考えている方へひとこと



**木村 マツエさん**  
(内職作業)

①昔はね職業安定所で仕事を探していたわけですが、ほんならキツイ仕事ばかりでした。これは身体に良くないからもつと年相応の仕事を探そうということ登録しようとなりました。



**平井 璋恵さん**  
(内職作業)

①民謡の先輩がセンターの民謡同好会をやっておられて、私も民謡してみましたから、その人の紹介で入ったんです。

②入った当初はなかなかできなかつたけど、年数が経つにつれ早くできるよくなりました。その達成感ですかね。

③みんな一緒に楽しくやっています。1日元気で時間きっちり仕事もさしてもらつて、ほんで健康で喜んでいます。

④いろいろな仕事があるからね、覚えられへんかつてもすぐに辞めたりせんと辛抱して根気よく勉強していただければと思います。ボケ防止にもなります。

②折り紙の種類がいろいろ変わります。1日終わった時に今日はやれやれ無事に過ごしたなつて感じます。それですかね。

③種類がいくつもある折り紙をまとめて1つに仕上げる仕事とか、難しい仕事もあるから我慢強くなりましたね。

④我慢強い人じゃないと務まりません。明日また頑張つてしよう、みんなに付いていこうつていう我慢強い気持ちがいりますね。

## 作業風景



**橋本 俊和さん**  
(商品管理)

①何か社会に還元したかつたんです。何かの形でお返ししたいと思つたので申し込みました。

②色紙の種類が多くて、覚えてと言われても難しい。それでも覚え、1日の仕事が終わつて一杯飲んだ時にやりがいを感じます。

③共同作業所つていう職場なんですけど、皆さん個性が強いんで、大変です。でもお互いに和気あいあいやつていける雰囲気は作れたので良かったですと思います。

④今まで社会にお世話になつた恩返しつていうんですかね、そういう気持ちで来てもらえたらつて思います。